

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2 年 2 月 11 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103452		
法人名	有限会社 美泉		
事業所名	グループホームよってきんさい矢賀		
所在地	〒732-0042 広島市東区矢賀 6 丁目4番34号 (電話) 082-510-5088		
自己評価作成日	令和1年12月27日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470103452-00&amp;ServiceCd=320">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470103452-00&amp;ServiceCd=320</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年1月24日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

私たちは、利用者様の立場に立った優しい対応と笑顔が見られるような心に寄り添ったケアを心掛けています。現在できていることが少しでも継続できるよう、生活リハビリとしていろいろな作業を一緒に行っています。天気の良い日には散歩に出かけ、春には桜の花を楽しんでいます。スーパーも近いので買い物にも一緒に出掛けています。近所の方より野菜や花の苗を提供頂き、畑や花壇で成長を楽しんでいます。又、開設当初より家庭医の協力のもと看取りを継続しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は一人ひとりの人生・人格を尊重し、個別の思いや能力を理解し利用者の視点に立ったケアを展開している。アセスメントはセンター方式にて詳細に個人の理解・把握に努め、ケアプラン内容も個別に具体的な内容にて計画し実践している。日常の散歩も気分転換や日常の日課、楽しみの他、歩かないと活動量が落ち利用者の心身状況にも低下に繋がることを根拠として意識し継続の取り組みがある。その他、生活リハビリを重要視しながら個別ケアを行っている。地域との関わりも積極的に行われており、地域行事への参加や事業所を地域の集会に使用してもらうなど交流を深めている。管理者は看護師であり、看護師2名にて有事の時や終末期には24時間体制にて迅速に対応が行えている。看取りに力を入れており協力医との連携をしっかりと図り、利用者・家族の要望にチームとして応え、その人らしい人生の支援に尽力している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	開設当初より理念を掲げ、各事業所ごとに目標をたて取り組んでいる。申し送り時に唱和し共有に努め、日々の現場に活かせるよう努めている。	法人の理念の他、毎年事業所独自の目標を掲げ実践し年度末に振り返りを行っている。今年度は「整理整頓をして利用者が生活しやすい環境を作る」であり、利用者の立場に立った視点で寄り添う支援を実践している。職員研修や会議で理解を深め日々のケアに努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入し行事など参加し、町内の方々との交流を楽しんでいる。事業所を町内会の総会会場として活用して頂いている。	町内会にも加入し回覧板などで地域の情報を共有し、地域のお祭りなどイベントに参加したり事業所1階のスペースを集会所代わりに使用してもらうなど交流を持っている。近所の方が野菜を持ってきてくれたり、民生委員よりチューリップを植えてもらうなど日頃より地域との関わりを大切にしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	入居の相談や見学に来られた時、困りごとに対しての対処などお話ししている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月ごとに開催し、事業所での活動など伝えている。町内会の行事予定を聞き参加している。防災についての話し合いをし、避難場所の確認や、避難の方法など話し合っている。	会議では事業所の運営や活動の報告を行い、民生委員や地域包括支援センターなど参加者との意見交換も活発に行っている。防災の内容を統一化して避難訓練の時に活用できた事例もあり、会議での意見を反映している。行方不明者の話があり情報共有ができたりと様々な内容を話し合っている。	会議の参加者において家族の参加が少ない傾向が伺えます。会議議事録を全家族に送付し、会議での取り組みを伝え意見を聞くことなど、家族からも身近に感じられる工夫にて参加を促すきっかけ作りをすることで、より多方面の参加にて意見交換が行われることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に包括支援センターより出席頂き日頃の様子を伝えている。年度初めの市主催の研修会に参加し情報を得ている。	運営推進会議において地域包括支援センターと積極的な意見交換が行われ、市が主催の研修会にも意欲的に参加をしている。市の地区医師会での在宅訪問医療において事業所の見学があり、事業所を研修の場に提供し認知症について説明や意見交換を行い協力を行った例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>マニュアルをもとに研修を行い、身体拘束についての理解を深めている。日中は玄関を施錠せず開放している。ベッド柵は転落防止として2本のみ使用している。言葉による拘束にも気を付けている。</p>	<p>法人方針より身体拘束をしないケアを実践している。ベッドの転落危険がある方にはベッドマットや畳にて対応し、夜間のみセンサーを使用するなど日頃の利用者の状態をしっかりと見定め個人に合わせた対応を行っている。言葉による拘束へも意識を高く持ち、職員間でお互いに言いあえる関係性もできている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修で学んでいる。日々、職員同士注意し合い虐待のないよう気を付けている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修で学んでいる。必要時には上司と相談し関係機関に繋げている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>重要事項説明書を用い説明している。納得頂けるまで丁寧に説明している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時には要望や意見をお尋ねしている。玄関に意見箱を設置し、直接言いくらい事を伝えられるように配慮している。施設代表者に直接連絡される場合もある。管理者会議や事業所ミーティングで検討している。</p>	<p>個人的にしたいことなどを聞き、できることは直ぐに取り組み実践している。家族からも面会時に要望を確認し、面会簿の下に意見を伺う枠を設け気軽に伝えられる工夫を行い思いや意見の把握に努めている。家族の受診が難しくなり事業所で連れて行ってほしい希望に情報共有を密にしながら実施した例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>申し送りや、事業所ミーティング時意見等聞く機会を設けている。会議で検討し反映させている。</p>	<p>毎月の職員会議で意見交換を行っており、利用者への対応や声掛けの仕方、日中の活動内容について検討を行い改善へと繋がっている。随時、管理者は法人の代表にも意見を提案し反映する他、職員も代表に意見が伝えられる体制も整えられている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>事業所訪問や日々の関わりなどから把握に努めている。研修や資格取得の為勤務調整や、資格取得時には報奨がある。家庭の事情の変化により勤務時間を配慮するなど、働きやすい職場になるよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>資格取得や社内外研修への参加を奨励し、勤務調整をしている。力量を考え職員の配置をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の同業者同士のセミナーや勉強会に参加している。</p>		
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>面接時に不安や困りごとを聞きながら、表情などからもくみ取り、安心して過ごせるよう寄り添い関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>相談を受けた時点より要望等をしっかりと聞き、不安や心配事が少しでも軽減できるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>在宅での希望があれば、デイサービスやショートステイなどの説明も合わせて行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>食事作りや食事、掃除、洗濯を一緒に行っている。お世話するのではなく、共に生活している気持ちを忘れないようにしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>日頃の生活の様子を面会時や毎月の手紙で伝え、困りごとがある時には一緒に考え、解決できた時には一緒に喜び共に本人にかかわって頂いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>入居前からのかかりつけ医や理美容院に希望時にはお連れしている。家族や友人の面会時にはお部屋でゆっくり過ごして頂いている。</p>	<p>家族の協力を得ながら外出を支援し、実家の祭りに行くことができ、楽しみとなっている例がある。散歩中グランドゴルフをしている地域の方とも馴染みとなっており、挨拶や会話を交わしている。友人や家族の面会が行い易いよう、近隣駅まで送迎対応を行う取り組みなど、一声かけての姿勢を大事に繋がりを紡いでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	相性を考えテーブル席やソファ席を決めている。職員が間に入り作業やレクレーションを通して利用者同士が関わりあえるように配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他の施設に転居時には情報提供や物品準備に協力している。退去後も相談があればいつでも受ける事を伝えている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前面接や入居時に本人と家族より希望等を聞いている。それをもとにアセスメントし把握に努めている。聞き取り困難な場合には表情や声などから把握に努めている。	アセスメントにセンター方式を活用し、利用者の思いや様子を詳しく把握できるように努めている。職員それぞれに利用者の担当を受け持ち、関わりを深く持っている。担当者も家族と連絡のやり取りを行うなど思いをより汲みとった対応を行っており、安心感にも繋がっている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前より本人や家族、包括支援センター、病院関係者より情報を収集し把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活を共にする中、体調や身体の動きなどを観察し、異常時には医師や看護師に報告し対応している。記録や申し送り職員全員把握できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>申し送り時やミーティング時に話し合い、面会時に家族に意見を求めるなどしながら介護計画を作成している。</p>	<p>日々の関わりや担当職員が本人や家族に深く関わりその情報をもとに計画作成者が原案を作成している。作成された原案をミーティングにて全員で確認し決定している。毎月モニタリングで振り返りを行い計画に反映している。主治医とも情報確認や事業所からの伝達を通しチームとして連携が図られ実践している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日の様子や気づきを個人の生活日誌に記録している。大切なことは申し送りノートで全職員が共有し介護計画に活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>家族の都合で通院や入退院時の付添が出来ない場合には職員が行っている。家族行事の付添なども行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>町内会に加入し行事に参加している。近所のスーパーに買い物に出かけたり、公園や桜の花が咲く時期には花見に出かけている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前の係りつけ医を希望される場合には引き続きかかって頂いている。その場合通院時には日頃の生活状況や症状を伝えるなど情報提供をしている。入院が必要な場合には適切な病院を紹介して頂き、適切な治療が受けられるよう支援している。</p>	<p>入居時に利用者の多くが事業所の協力医に変更し往診が定期的に行われている。必要に応じ受診や個別でも耳鼻科や皮膚科など専門医の往診があり状況に合わせて医療が受けられる。管理者と他に1名看護師が居り（介護と兼務）、医療と連携して対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日頃の様子を毎日報告し、気づきがあればその都度報告、相談し必要時には付添受診している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には職員が付添、日頃の様子や病気の症状を伝えている。入院中は面会に行き医師や看護師より経過を伺い、早期に退院できるよう働きかけている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に看取りまで行う事を説明している。重度化した場合本人、家族、の意向を確認し医師、看護師、職員と連携し対応している。</p>	<p>入居時に看取りの説明を行い意向の確認をしている。重度化した場合や看取り時には都度意向を確認している。看取りでは看護師が24時間いる体制とし、協力医も1日1回の往診にて医療と連携し対応している。職員も毎日の申し送りの他、ミーティングで情報を共有しながらプランに沿ってチームで支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>研修や日頃の勤務の中で身に付けている。事故発生時マニュアルを作成しいつでも見る事が出来るようにしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>避難訓練を年2回行っている。運営推進会議で話題にあげ、過去の災害状況の情報を得ながら、避難場所の参考にしている。</p>	<p>年2回避難訓練を行い、その内1回は消防署の立会いにて行い夜間想定も実施している。運営推進会議で地域より水害や浸水など災害についての情報を共有し、助言により浸水時は2階へ垂直避難を行うなど避難体制を整えている。近所の住民にも外に出て見守りをお願いするなど協力関係を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者に対して責めるような発言や、失敗を人前で口にしたりしないようにしている。会話も丁寧な言葉づかいを心掛けている。	新任研修をはじめ年間1回プライバシーについて研修を実施している。日々の言葉掛けも尊厳を意識して丁寧な言葉遣いを心がけ、居室に入る際は必ず声を掛けるなど基本的なことを大事にして実践に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	おやつや散歩コース、作業など選べる場面を設定し、利用者の力に応じて選択肢を減らし、選びやすく設定するなど働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	毎日の流れは決まっているが、その中で利用者の希望を聞きながら、散歩や買い物、作業などそれぞれが過ごせるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	普段よりその方らしい服装で過ごせるようにしている。髭剃りや整髪など身だしなみを整えるお手伝いをしている。外出時や行事には少しおしゃれをして出かけられるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	毎日の食事作りを一緒に行っている。季節の行事やお誕生日にはいつもと違う献立で楽しんで頂いている。嗜好に合わせて献立を変更している。	日曜日・木曜日の朝はパン食としており、毎週火曜日の夕食は刺身の日とし利用者の楽しみとなっている。誕生日には行事で外食をしたり、本人の食べたい物を提供しお祝いすることや、季節を感じられる行事食、お好み焼きを焼いたり鍋料理を行うなど変化に富んだ楽しみのある食事提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分量や食事の摂取量は個人の生活日誌に記録し，少ない場合には捕食したり，経口摂取困難な場合には，医師の指示にて看護師が点滴を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食前には嚥下体操を行い，食後には口腔ケアを行っている。自力困難な場合には介助し口腔内の清潔に努めている。義歯は眠前に外し洗浄液につけている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>定期的にトイレ誘導を行い，歩行困難な方にはベッドサイドにポータブルトイレを設置しトイレでの排泄を心掛けている。</p>	<p>利用者の動きやしぐさ，様子をみながらトイレのサインを見極め，排泄チェック表を確認し，個別の排泄支援を行っている。トイレに座って排泄を行うことを意識し，歩行困難な方にもポータブルトイレを活用し取り組んでいる。利用者の状態により量りで尿測を行い主治医に報告もしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとりに合った対応で，早朝に牛乳や白湯を飲んで頂いたり，散歩や運動などで便秘対応をしている。下剤服用時には水分をしっかり摂取して頂いている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>体調に合わせて入浴して頂いている。気分が乗らない場合には時間をずらしたり，日にちを変えている。季節に合わせてしょうぶ湯や柚子湯を楽しんで頂いている。</p>	<p>週3回を基本に入浴している。入りたくない利用者には時間や日にちをずらし個人の思いを尊重して取り組んでいる。午後3時より入浴を行い夕方に近い時間での入浴で入所前の以前の日常生活になるべく近づけた生活となるよう配慮している。リフト浴の設置もあり安心して入浴できる環境がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>食後にベッドで休んで頂いたり、ソ ファーでゆっくりして頂いている。定 期的にシーツの洗濯や布団を干し気持 ちよく眠れるよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理解 しており、服薬の支援と症状の変化 の確認に努めている。</p>	<p>薬の説明書やお薬手帳などから情報 を得ている。誤薬のないよう名前を 声を出し3回確認している。体調や 症状の変化に注意している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活歴 や力を活かした役割、嗜好品、楽 しみごと、気分転換等の支援をして いる。</p>	<p>一人ひとりの力に合った作業を職 員と一緒にしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援 に努めている。また、普段は行け ないような場所でも、本人の希望 を把握し、家族や地域の人々と協 力しながら出かけられるように支 援している。</p>	<p>散歩や買い物に出かけている。地 域の行事を知らせて頂き、一緒 に参加している。</p>	<p>日常よく近所の公園に出かけてい る。家族の協力のもと外出を行 い、受診後に外食し戻られること もよくある。行事ではバスでお花 見に行ったりと利用者の楽しみと なっている。近所のスーパーに買 い物に行ったり、散歩も日常的 に出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援して いる。</p>	<p>預り金や立替金として買い物に出 かけたときお金を使用して頂いて いる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話の子機を使用しお部屋でゆっくり話をして頂いている。手紙を希望される場合には投函などお手伝いしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>食事や作業時にはテレビや音楽を消し、会話を楽しむなどメリハリがあるよう気を付けている。季節の壁画や花を飾り季節を感じて頂けるよう配慮している。不快なおいがこもらないように、換気に気を付けている。</p>	<p>日当たり良好なリビングは全体的に明るく、広く開放的である。陽射しもカーテンで調節し程よい採光にて落ち着いて過ごすことができ、ゆったりと団欒や和みの時間が共有できている。敷地にはパンジーなどを植え、季節の花も常時飾り季節感が感じられ、利用者作品や壁画にてアットホームな雰囲気がある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブルやソファを離れた場所に設置し、それぞれの場所で過ごせるよう配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅で使用していた使い慣れた馴染みのタンスや道具を持参して頂き、居室づくりをしている。家族の写真や好みの花などを飾り居心地の良い居室作りに努めている。</p>	<p>入所時に自宅を訪問したり家族に住環境を確認し利用者の生活がしやすいように環境を整えるようにしている。利用者は自宅から日本人形や使い慣れたタンスなど好きだった物や思い出の馴染みの物など自由に持参され、それぞれに思いのある居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下や浴室、トイレには手すりを設置し軽度の介助でも手すりを持ちながら歩行できる。部屋の入り口には目印をつけ自室がわかるようにしている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームよってきんさい矢賀

作成日 令和2年4月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議への参加者が限られている。	運営推進会議の充実。	地域の方やご家族へ参加を呼び掛けていく。	1年
2	35	災害対策も踏まえた避難訓練。	地域の情報を共有し地域での取り組みが出来るようにする。	運営推進会議で地域の協力が得られるようにお願いします。	1年
3					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。